

製品名: アルファアクチニン 4 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87224**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から 12 ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:105 kDa; Observed MW:105 kDa

抗原情報

遺伝子名	alpha Actinin 4
別名	FSGS; FSGS1; ACTININ-4
遺伝子 ID	81
SwissProt ID	O43707
免疫原	ヒトαアクチニン4の合成ペプチド

背景

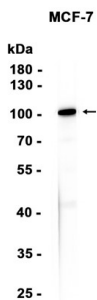
αアクチニンは、αスペクトリン、βスペクトリン、ジストロフィンを含む多様な細胞骨格タンパク質群を代表するスペクトリン遺伝

子スーパーファミリーに属します。αアクチニンはアクチン結合タンパク質であり、様々な細胞種で多様な役割を果たします。筋細胞以外の細胞では、細胞骨格アイソフォームはマイクロフィラメント束や接着型結合部に沿って存在し、アクチンを膜に結合させる役割を果たします。一方、骨格筋、心筋、平滑筋のアイソフォームはZ板や類似の緻密体に局在し、筋原線維アクチンフィラメントの固定に関与しています。この遺伝子は、細胞質に集中する筋細胞以外のαアクチニンアイソフォームをコードしており、転移過程に関与すると考えられています。この遺伝子の変異は、巣状および分節性糸球体硬化症と関連付けられています。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



アルファアクチニン 4 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した MCF-7 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。